

第4期科学技術基本計画レビューに係る 技術評価方法について

平成25年12月26日
環境ワーキンググループ事務局

第4期科学技術基本計画レビューの概要

- ◆ 第4期科学技術基本計画に係るわが国の科学技術の進捗に係るレビューを行う。
- ◆ 進捗をはかる評価指標の検討や関連施策の貢献度の分析、ならびに第5期科学技術基本計画策定に向けた検討等を実施する。

第4期基本計画レビューに係るアウトプットイメージⅠ

| 第4期基本計画における課題領域 | | | | 指標区分 | 評価指標 | 指標値 | | | | | | 補足 (出典等) |
|-------------------|------------------|------------------------|--|------|-------|------|------|------|------|------|------|-------------|
| | | | | | | 2005 | 2010 | 2012 | 2013 | 2015 | 2020 | |
| Ⅱ. 3. グリーンイノベーション | (2) 重点課題達成のための施策 | i) 安定的なエネルギー供給と低炭素化の実現 | 再生可能エネルギー技術の向上 (例) 太陽光発電 風力発電 | 社会指標 | 普及量 | | | | | | | |
| | | | | | 経済効果 | | | | | | | |
| | | | | 技術指標 | 変換効率 | | | | | | | |
| | | | | | 発電コスト | | | | | | | |
| | | | | | 耐久性 | | | | | | | |
| 等 | | | | | | | | | | | | |

第4期基本計画レビューに係るアウトプットイメージⅡ

| 第4期基本計画における課題領域 | | | | 施策・取組 | これまでの成果 | 評価指標に対する貢献度評価 | 今後取り組むべき項目 |
|-------------------|------------------|------------------------|--|-----------------|---------|---------------|------------|
| Ⅱ. 3. グリーンイノベーション | (2) 重点課題達成のための施策 | i) 安定的なエネルギー供給と低炭素化の実現 | 再生可能エネルギー技術の向上 (例) 太陽光発電 風力発電 | 【各省施策（特定）】 ◆ | | | |
| | | | | 【各省施策（特定）】 ◆ | | | |
| | | | | 【各省施策（独自）】 ◆ | | | |
| | | | | 【各省施策（独自）】 ◆ | | | |
| | | | | 【民間施策】 ◆ | | | |
| | | | | 【民間施策】 ◆ | | | |

第4期科学技術基本計画レビューの進め方

●レビューの基本的考え方

- 第4期科学技術基本計画及び科学技術イノベーション総合戦略に掲げる科学技術イノベーション政策、施策等による技術の進捗状況を適切に把握する。
- 技術の進捗状況を鑑み、今後取り組むべき項目の明確化や取り組みに係る適切な目標の検討等を行う。
- 本取り組み結果を平成27年度アクションプランの策定や第5期科学技術基本計画の策定に活かす。

●レビューの進め方（案）

- 市場創出や国際比較など、評価方針を明確にした上で、可能な限り定量的な指標を検討する。
- 上記評価指標を用いて技術の進捗状況を評価・分析する。
- 各省施策および、民間企業等の取組の成果を整理し、評価指標の変化に対する貢献度等を評価・分析する。
- 今後取り組むべき項目や目標等を検討する。

検討依頼事項（案）

第4期科学技術基本計画において対象とする技術について、各構成員にて担当分野を割り振り、評価指標をご検討いただきたい。

検討にあたっては、下記事項についてご留意いただくこととしたい。

②対象とする技術の粒度は社会実装された際のシステム単位とする

①各構成員には大項目ごとに担当分野を割り振る予定（資料4-2）

④社会指標はあるべき社会像の実現度合いをはかる観点から必要と考えられる指標とする

| 第4期科学技術基本計画における課題領域 | 第4期基本計画において例示されている個別課題 |
|---------------------|------------------------|
| iii) 社会のグリーン化 | 高度水処理技術を含む水資源管理システム |
| | 資源再生技術 |
| | 地球観測・予測・総合解析技術 |
| | |

| 大項目 | 小項目 | 指標区分 | 評価指標 |
|-----|-----------------------|------|--|
| 水再生 | 省エネルギー型（省水型・環境調和型水循環） | 社会指標 | 市場規模 普及台数 |
| | | 技術指標 | 従来の廃水処理に比較した省エネルギー率[%] 有機性余剰汚泥削減率[%] 難分解性有害化学物質の除去率[%] |
| | 先進型抗廃水処理技術 | | |

③評価指標は、社会的観点（アウトカムへの貢献等）技術的観点から検討する

⑤技術性能向上の鍵となる代表的な要素を検討し、評価する指標も挙げる

⑥技術指標は社会実装された際のシステムとしての性能を評価できるものとする